

コロナ感染急増対策を、 今こそ少人数学級実現へ！



第4回定例区議会は、新型コロナウイルス感染の第3波の中で開かれました。感染拡大防止の社会的検査の拡充、医療機関と困窮する区民への支援、子どもたちのための少人数学級の早期実現をはじめ、羽田新ルート中止、「地球温暖化」対策、介護・難聴対策など高齢者福祉、公契約制度など、区議団は切実な区民要求をとりあげて質問しました。

新型コロナ感染症拡大を防ぐために！

コロナ感染症の第3波が広がり、医療体制がひっ迫しました。感染拡大を防ぐには、何よりもPCR検査の徹底が重要です。

江戸川区が昨年11月から実施しているスクリーニング検査（高齢者・障害者支援事業所、幼稚園・保育園、小中学校、約1800施設的全職員約2万2000人が対象）が注目されています。昨年12月9日時点で3677人が検査を終え、

全員が陰性とのこと。検査を受けた事業所からは「安心して仕事ができる」と歓迎されています。さらに、定期的な検査を求めています。

区議団はコロナ禍の中で、検査拡充と共に、医療崩壊対策やくらし応援施策など区への要請を8回行ってきました。11月13日には「2021年度予算要望」を行い、12月22日は年末年始の「緊急要望」を行いました。



2021年度予算要望書を区長に

少人数学級を子どもたちに

学校は、教科を中心とした子どもの学びをどの子にも保障する場であり、安心して生活するための居場所でもあります。国と都に少人数学級の早期実施を求めるよう質問しました。

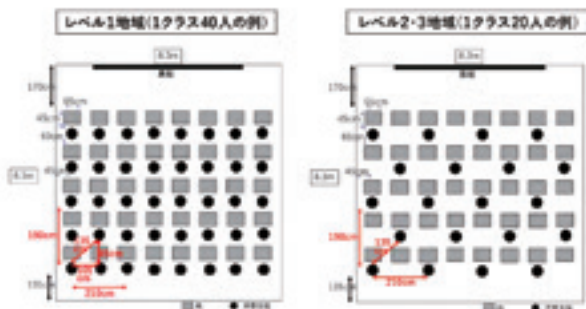
教育長は、「新型コロナのことで児童生徒間の距離を確保する必要がある。文科省が少人数学級を打ち出したのは大きなこと。望ましい学習環境の確保に努めていく」と区としてはじめて前向きな答弁をしました。文

部科学大臣も「30人学級が望ましい」と国会で答弁しています。コロナ感染防止と不安を抱える子どもたちのケア、きめ細かな学びを保障するために、少人数学級の早期実施が教育行政の責任です。



学級内の身体的距離の参考例

レベル1・2・3は、感染拡大状況を示す数値



「公契約」制度 区に働くすべての 労働者を対象に！

前議会で実現が表明された「公契約」制度。区との契約で働く労働者の賃金の下限額を条例で定めるなど、労働条件改善、事業者の負担軽減、区の事業とサービスの品質向上など制度の充実の立場から質問しました。

建設産業をはじめ、業務委託・指定管理者など区との契約で働くすべての労働者を対象とすること、労働者・事業者・学識経験者による審議会の設置などを求めました。区長も今年10月予定の実施に向け、前向きに答弁しました。

認証保育所 保育料補助が拡充！

待機児童が23区でワースト1になった江戸川区。その解消のために、保育料が高い「認証保育所」も利用できるように、保育料補助が今年4月から拡充される予定です。

2019年度は利用者の約2割の方が一定額（所得制限有）を受けていました。今回は保育認定を受けた0～2歳児が対象で、所得制限はありません。第1子・3万7千円、第2子・4万3千円、第3子・5千円です。非課税世帯にはすでに出ている4万2千円に8千円がプラスされ5万円補助されます。

待機児童解消を期待します。
詳しくは施設利用給付係へ

☎5662-1012（直通）